

第三十四回 中南郡芸能発表会

中南郡老人クラブ連合会
藤崎町老人クラブ連合会

12月22日(日)、藤崎町文化センターで中南郡芸能発表会が開催された。当日の外気温が8℃で積雪ゼロ(昨年24cm)。小春日和を思わせる晴天の一日でした。

関係町村(大鰐町・田舎館村・西目屋村・藤崎町)から芸達者45組(個人・団体)が出演した。

一 開演 (司会 山内誠一郎氏)

開演10時に合わせて近隣市町村からの会員、隣接の弘前市・板柳町などから来場者が続々と詰めかけて超満員。(大ホール収容人数六〇一人)「おしゃべりの会」によるコーヒーの「おもてなし」も大張り切りでした。

1 開会のことば中南郡老連会副会長 岩間茂廣氏



(田舎館村老連会会長) 四町村の老人クラブ仲間六〇〇名を迎えて盛大に開催します。

2 あいさつ

(藤崎町老連会会長) 早朝から多くの方にご来場頂きありがとうございます。



成田博志氏 (大)

この芸能発表会も34回になり、出演者が緊張して張り切っています。皆さんの大拍手と声援をお願いします。

二 発表

最初に登場した石澤岩雄氏がギターを手にして「ギター仁義」を歌い好スタートとなった。踊り・唄・ダンス・詩吟など熱演の度に、大きな拍手と歓声で発表している人と、会場の皆さんも一緒に楽しんでいるのが分かったし、見ごたえがあった上手だった。また、舞台照明もすばらしく大いに盛り上がった。



中南郡老連会員や近隣町村からの観衆で一杯の会場

発行者

藤崎町老人クラブ連合会
広報委員会
藤崎町老人福祉センター内
電話 七五―三三三二

や、お楽しみ抽選会もあつて時間を忘れさせた。プログラムの流れがスムーズで予定どおり14時30分に終了した。

三 講評・閉会のことば

中南郡老連理事 平田藤太郎氏 (西目屋村老連会長)

立派な会場で出演者は練習に励んできた成果を充分発揮できたと思います。素晴らしい発表会でした。来年も楽しみにしています。

四 閉会

藤崎町老連館山新一会長の音頭で三本締めを行い全て終了した。



桜貝 (中村あつ氏 他2名)

三上ぬり氏

工藤哲子氏

福士 昇氏 (田)

清水椽志男氏



町田タエ子氏



熊野寅蔵氏 (大)



女ひとり (相馬鐵郎他7名) (田)

2月行事予定表		
日	曜	行事 時刻
1	土	ふじ健大OB会 10:00
2	日	
3	月	役員会 10:00 芸能部 12:00
4	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
5	水	
6	木	昔の遊び (藤崎小) 9:30 囲碁・将棋部 12:30
7	金	
8	土	老連トランプ大会 10:00
9	日	
10	月	昔の遊び (常盤小) 9:00 生け花部 10:30
11	火	建国記念の日
12	水	茶道部 13:00
13	木	囲碁・将棋部 12:30
14	金	遊びランド (藤崎小) 9:30
15	土	社会福祉大会 (文化センター) 12:30
16	日	
17	月	芸能部 12:00
18	火	囲碁・将棋部 12:30
19	水	
20	木	広報委員会 13:30
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	日本舞踊部 12:00 囲碁・将棋部 12:30
26	水	茶道部 13:00
27	木	囲碁・将棋部 12:30
28	金	
29	土	【白寿】配布日 12時以降

冬季トランプ大会のお知らせ

一、日時 2月8日(土) 午前10時開会(受付9時30分)

二、場所 藤崎町老人福祉センター集會室

三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問いません。

四、種目 個人戦のみ(午前2試合、午後2試合)

☆4試合の取得点数の合計点で競います。

五、会費 一、〇〇〇円(当日集金します。)

六、その他

①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、審判長並びに参加者相互の話し合いによって決めます。

②表彰は1位、10位迄と、飛び賞・ブービー賞です。また、参加者全員に参加賞を差し上げます。

③昼食は、事務局で用意します。

④大会会場での「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

種目	演目・曲名	団体名	出演者	
唄	ギター仁義	老連芸能部	石澤 岩雄	
	お岩木山	水沼延寿会	吉田 兼男	
	春の雪	伝馬喜楽会	阿部 忠芳	
	泣かないで	錦川シニア倶楽部	清水 稔志男	
	山のけむり	福島老人クラブ	古川 慶次	
	ただ、会いたい…母	老連芸能部	齋藤 君子	
	じよんからよされ節	西中野目長寿会	伊藤 定範	
	北の出舟節	常盤養命会	三上 道子	
	明日舟	常盤養命会	三上 道子	
	津軽リンゴ節	常盤養命会	高木 ユキ	
舞踊	千の風になつて	常盤養命会	高木 ユキ	
	紀伊國屋文左衛門	矢澤長寿会	清野 重名	
	天竜流し	老連芸能部	齋藤 二郎	
	あ、青森	久井名館松葉会	浅利 清英	
	夢見草	老連日本舞踊部	中村 悦子	
	長良川艶歌	老連日本舞踊部	工藤 哲子	
	岸壁の母	榊壮寿会	三上 ぬり	
	珍島物語	榊壮寿会	高木 クニ他2名	
	魂(こころ)	老連日本舞踊部	佐藤 緑	
	黒田の武士	西豊田豊寿会	福士 キワ	
詩吟	渚の女	伝馬喜楽会	中村 あつ他3名	
	桜	老連芸能部	阿部 弘子	
	ダンシング・ヒーロー	久井名館松葉会	佐藤 キク他2名	
	津軽よされ節	新町福寿会	町田 タエ子	
	新藤崎音頭	藤崎オールスターズ	神 昭子他多数	
	謙良節	徳下徳寿会	山内 誠一郎	
	ちよつと見のいい女	レクダンス部	小笠原とぎ子他13名	
	銀座カンカン娘	レクダンス部	古館 容子他15名	
	レクダンス	レクダンス部		
		レクダンス部		
レクダンス部				

高血圧の新基準と循環器病

一 循環器基礎講座

二 高血圧の新基準と循環器病

昨年、高血圧治療ガイドラインが改訂され、血圧値の分類や降圧目標等が新しくなりました。高血圧はサイレントキラーです。血圧が高いと心臓病・脳卒中など、いろいろな重大な循環器病を引き起こします。高血圧や血圧管理に関する最新情報と、循環器病との関連や生活上の注意点を先生から教えていただき、心臓病・脳卒中などの循環器病予防に役立ててみませんか？

1、日時 令和2年3月4日(水)14時〜15時30分

2、場所 藤崎町文化センター 3階 多目的ホール

3、講師 弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 教授 富田 泰史 医師

※申し込み締切 2月28日(日) 福祉課健康係まで

※参加無料

『ゆずり継ぐ幸せの時代』

県老連 高齢者相互支援推進研修会 参加者募集

一、日時 2月29日(土) 10時〜12時(開場9時30分)

二、会場 藤崎町文化センター 大ホール

三、日程

第一部 『着物リメイクファッションショー』 10時10分〜11時

第二部 講演 『令和と万葉集』 11時〜12時

講師 八戸学院大学短期大学部 客員教授 三村 三千代 氏

参加者全員に大塚製薬「OS-1」プレゼント

※お問い合わせ先 藤崎町老人クラブ連合会

TEL 七五―三三三二

単位クラブ便り
白子高砂会 久井名館松葉会 合同研修旅行
初めての試み 合同研修旅行 和やかに

町のバスが単位クラブの旅行等で利用でき、大変有り難く利用させて頂いております。しかし、近年は会員減で単独利用が出来ないクラブが出てきました。それは、参加人員が15名以下になれば町のバスは利用できないのです。今回は白子高砂会と久井名館松葉会が合同で町のバスを利用する試みをしたことは英断です。参加人員の関係で旅行を中止されたクラブもあつたやに聞きます。今後の旅行の方向を示して頂き有難うございました。

平成31年4月、白子高砂会と交流を始めました。その中で白子高砂会では、今年も竜飛に旅行に行くことになり、それじゃ久井名館松葉会も参加し合同で行きましょうと言うことになり、役員9名(白子4・久井名館5)が3回話し合い最終的に、令和元年7月26日(金)久井名館7時40分発。白子8時15分発で参加者41名と決まりました。

当日参加者41名(久井名館31名、白子10名)は、町のバスに34名乗り、その他ミニバン1台に7名が分れて乗った。皆さんは時間を守り遅れる人もなく予定通り出発した。バスの中で松葉会会長から朝の挨拶があり、バスの中はワイワイガヤガヤ、それぞれの会話が止まらなかった。

途中「はくちよう亭」でトイレ休憩をとり、次は北海道新幹線別駅を見学し、竜飛崎灯台へと向かったが、雨に降られ、海を見ることが出来ず残念だった。間もなく灯台の見える「ホテル竜飛」へ到着。ホテルをバックに記念写真を撮影後、ホテルのスタッフに会場まで案内された。皆さん疲れた様子もなくさっそくお風呂に入る人、おしゃべりに花をさかせる人とそれぞれ思い思い自由を過ごした。

12時白子高砂会長から挨拶をいただき、乾杯の音頭で懇親会が始まり、美味しい食事をとりながら歓談し、やがて余興にはいり「ビンゴゲーム」、カラオケを楽しみ、Fさんのオカリナ演奏も出て大いに盛り上がった。また、売店で買い物を楽しみ、時間を満喫された様子でした。2時30分、帰る時間となりスタッフたちに見送られホテルに別れを告げた。残念ながら視界が悪く雄大な景色を見ることは出来なかったのは残念だった。途中で中泊町の道の駅「ピュア」に寄り、買い物と休憩をとり、その後は天気も次第に良くなり白子へ到着した。

5時30分久井名館に到着。皆さん長い道中で疲れ気味でした。ミニバンを運転した佐藤さん大変ありがたうございました。

今回の合同研修旅行は初の企画でしたが、両会員同士の交流があったため実現でき、懇親会も和やかなムードで何の支障もなく過ごせ、大変有意義な旅でした。



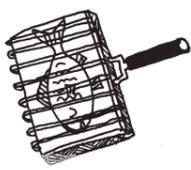
令和元年度 白子高砂会・久井名館松葉会合同研修旅行 2019.7.26

古老が語る
「物知りの記録」(8)

大字三ツ屋地区(2) (平成3年7月2日)

古老6 83歳・古老7 80歳

食べ物 生魚は浪岡か黒石まで行かないと買うことができなかった。春からずつと食べたものだ。マスのだのしよっぺして食べられなかった。魚焼くにも藁あぐ(わら灰)でおにぎりも焼いた。ワダシに上げるが藁のアグがついてしまう。焚き木がないので、しときモチを作って「アグ」(灰)に埋める。硬くなったモチは、火にかけて焼いても中がなかなか焼けないので、アグの中に入れてゆっくり熱を加えると(時間をかけると)中まで柔らかくなる。硬くなったモチを「わだし」で焼くのは落ちてしまう。このアグの中で焼くのを



要領よく焼くためには、始めに鍋で焼いて皮を熱くしてから、アグの中に入れて焼くと、柔らかすぎないで丁度良く焼ける。それを30分位アグの中でゆっくり焼く。

盆・正月 お盆と正月は魚を買ってきて、一品か二品ついで餅がおやつであった。干し餅を二つ食べて、水を飲めば腹いっぱいになった。田圃を廻って歩く時食べれば良いものであった。こういう「しよっぺい」ものばかり食べるので、子供は、2〜3歳で死んでしまうことが多い。皆どこの家でも2歳位までに死んだ。幼い子供は、消化のころあいが分からないので死ぬ。親がネリ粉(米粉)を噛んで、それを与えたものだ。歯で噛んで軟らかくして与えた。乳の出ない人は、皆そうして与えた。米粉、御飯を口の中で噛んで、味付けは砂糖がないので、塩味であった。砂糖が入ってきたのは、大正2年の「ケガザ」(飢饉)の後だ。栄養の良い食べ物もなく、しかも農機がなく肉体的労働だけなので早く死んだ。ソバ餅は食いにくかった。でも食べるものが無かったので我慢して食べた。ソバ餅を少し食べて、メシ半分食べた。メシ一杯か2杯食べた、ソバのネリ粉に塩味付けて、豆の粉(きなこ)を付けて食べた。

遊び ベンジャ、下駄の歯のないのに金具を付けたスケットの様なもの、鼻曲がりのベンジャと言った。馬そりなどに掴まって滑ったものだ。海軍遊戯、陸軍遊戯があった。小学校の時、陸軍遊戯というのは、騎兵、歩兵だとか書いて頭にしめる。騎兵歩兵が行き会えば、どちらが死ぬ。夏は海軍遊戯を隣村とやったりした。海軍遊戯は、軍艦の地雷艇と書いたのを頭にしめて、軍艦と会おうとどっちかが勝つか負けるかを遊んだ。冬はベンジャ、ずぐり回して遊んだ。

味噌・醤油は自家製品 醤油は、大分後に出回ってきたが、今のようは一升で買うのではなく、量り売りの一合単位で買ったものだ。醤油の代わりに味噌をすって、手ぬぐいで袋をつくり、それでこす。それを醤油代わりに使った。全部自家製品であった。塩を買ってくるが、味噌をしょっぱく作るので、味噌をすって袋でこしたものをすつと古く置くと醤油みたいになる。味噌をつくる豆は、どこでも共同で煮込んだものだ。

喧嘩 冬の硬雪の頃になると高田と徳下のケンカがあった。ネプタのケンカは凄かった。弘前のネプタは、町内と町外のケンカで石の投げ合いで石が飛んできて、側に居られなかった。刀で切りつけられ死んだ人もあった。ケンカは1対1でなく、皆がごうごう取っ組んでケンカした。農業用水の水ケンカは大変なもので、小阿弥堰と猿賀堰の争いは激しかった。石の投げ合いを浅瀬、石川を挟んでやったもんだ。川の中で取っ組んだり、小阿弥堰から鬼来れば、こちらは桃太郎だと言って、強い人には強い人をあてた。大正14年(一九二五)頃であった。

◆ 歯なしの話 95 ◆

気になる言葉「ボランティア」 佐藤 透

最近よく耳にする言葉の中に「ボランティア」という単語がある。皆様この言葉の本来の持つ意味がわかりますか？

まずは、いつものように「インターネット辞書」(Wikipedia)にて調べてみた。「日本では、おおむね自発的に他人・社会に奉仕する人または、活動のことを言い、公共的・自発的・先駆的なものである。」となっている。何故、私が気になってくるかというと、テレビやマスコミ等で災害の手助けにボランティアが不足だとか、オリンピック大会に中高生生のボランティアを学校に割り当てて人を集めたいなどと聞こえてくるからである。本来のボランティアは、上記のように自発的なことを主とする訳なので、強制されたり、それに近い圧迫を受けたりするものではない。ということで、日本に於いては、未だボランティア活動を十分に理解されていないように感じるからである。

皆様の中にも聞いたことのある人も多いかと思いますが、一八〇〇年代にメキシコとアメリカのテネシー州が戦ったときの有名な「アラモの砦」を巡っての攻防には、自主的にテネシー州から参加した義勇兵をボランティアと言ったそうである。(手弁当であり、死を顧みない参戦であった。)

ここで大事なことは、その行動・行為が自主・自発的であればならないと言う事である。簡単なことと言うと、電車で弱者と思われる方に席を譲ることも立派なボランティアと思うのである。これこそが何の見返りもなく、自発的なものである。



◆ 川柳 ◆

- 高木アツ子 伝統の行事小さく継承し
- 鈴木てつ子 注射針刺す前に痛い顔
- 三浦 進 雪不足泣くなもうすぐ銀世界
- 石動 弘一 雪掻きをすまし夕餉のジャツパ汁